

「平成18年度普及に移す成果」

# 特定JAS「筑波地鶏」



畜産センター養鶏研究室

特定JAS規格に沿った特殊肉用鶏を民間種鶏場の協力のもと、当研究室保有の各種系統の交配・選抜を重ね、三元交雑種を作りました。この鶏は平成15年10月に、「筑波地鶏」の名称で地鶏肉の日本農林規格（通称：特定JAS）の認定を受けました。



筑波地鶏

[ 交配様式 ]

F<sub>1</sub>母鶏  
比内鶏( ) × ロードアイランドレッド種( )

**筑波地鶏**

ホワイトコーニッシュ( ) × F<sub>1</sub>母鶏( )

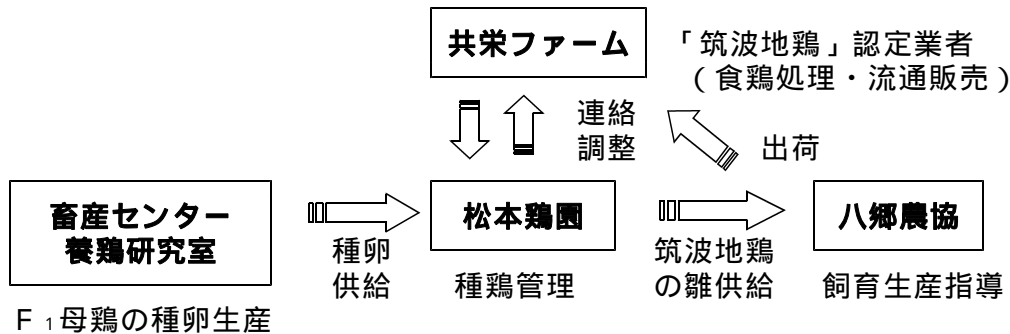
[ 地鶏肉の生産方法についての規格 ]

在来種由来の血液50%以上のもの  
飼育密度 1㎡当たり10羽以下で平飼していること  
飼育期間は80日間以上飼育していること

[ 筑波地鶏の特徴 ]

飼育期間（80日間）の育成率は98%以上で強健性に優れています。  
80日間飼育で雌雄平均体重は 3.0kg以上になり、増体に優れています。  
飼料要求率は雌雄平均2.6～2.8で、飼料の利用効率に優れています。

[ 生産体制 ] 筑波地鶏は『いばらき地鶏振興協会』に加入しています。



[ 新規飼育希望の方へ ]

地鶏の名称から県南・県西地域で飼育するのが望ましいですが、それ以外の地域での飼育希望にも相談に応じます。

八郷農協の指導のもとで飼育します。

- ・ 八郷農協内の「鶏肉生産体験研修所」で、生産から出荷までの飼育手引きマニュアルに沿った研修が出来ます。
- ・ 1棟（24坪：800羽）、年3回転が基本です。

< 問い合わせ先；畜産センター養鶏研究室 電話029（292）1133 >